

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



インターン生と国会へ

放射能汚染調査請願に付帯決議

町田市が自身で放射線量を測定することを求める請願 3 件を、町田市議会は 6 月 29 日の最終本会議で採択しました。その審査は、6 月 21 日、健康福祉常任委員会（吉田つとむが所属）で一括して行われましたが、各請願代表者の意見陳述をそれぞれお聞きし、行政担当者の請願趣旨に否定的な見解を聞き、質疑を経て、全委員の記名による下記の付帯決議を提出し、全委員一致して可決しました。

＜健康福祉常任委員会の付帯決議の全文＞

1. 東京都が町田市内で放射線量の測定する場所以外でも、多数の場所（特に、小学校・中学校・保育園・幼稚園などのグラウンド・園庭・砂場・プールなど）で、町田市独自で放射線量の測定を実施し、公表するべきである。そのために、東京都から貸与された測定器を積極的に活用すべきである。

1. 放射線量が比較的に高く観測された地域において、同一地域の土壌やプールの水などの放射性物質の含有量を、速やかに町田市が検査機関に依頼して測定調査を実施、公表するべきである。

1. 学校給食の食材（牛乳などを含む）の放射性物質の含有量を、定期的に町田市が検査機関に依頼して測定調査を実施し、公表するべきである。また、食材の産地表示を納入業者に求め、随時、保護者に公表すべきである。

この付帯決議内容の特徴は、請願項目が求めた大気中の放射線量の測定と合わせて、小中学校や保育園、幼稚園の土壌やプールの水、さらに学校給食の食材（牛乳を含む）まで広範囲に、放射性物質の含有量の測定を町田市が実施するように求めた点でした。



給食時間が終わり、ビン入り牛乳の空ビンが専用ケースに収められました。明治乳業製品が町田市の学校給食では使用されています。

放射線量測定に関する町田市の 弁解を委員会で論破しました

放射線量の測定を巡って、町田市長の見解は、「その測定は専門的知識や技術を要する」ものであり、「町田市にはそうした技能を持つ職員がいないため実施できない」というものでした。

私は、健康福祉常任委員会でこれまで私が調べてきた内容（下記）を披露し、市の見地を根本的に批判し、その弁解を論破しました。

すなわち、町田市が何事においても手本とする東京都では、文科省の委託で大気中の放射線量を測定していましたが、機器はすべて自動化したものであり、専門の技官は置かれていませんでした。つくば市にある国の独立行政法人（物質・材料研究機構）では、その測定を守衛さんが行っていました。この私の説明を含め、町田市保健所長が「放射線測定に資格は存在しない」と答弁し、本会議の一般質問から続いた論議が決着しました。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属: 志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

中町 1-20-23

☎042-724-2127



双方向の情報交流

残念ながら、主体性ゼロの町田市下水道の汚泥焼却灰の取扱い



各地の下水道施設で、低濃度とは言えない放射性物質が検出されており、特に町田市で発生する汚泥焼却灰は高い部類に入っています。本来それを引き取るセメントメーカーは受け取りを断り、6月末時点では、施設内の焼却炉の近くの倉庫内に次々とそのストックが増えている状況です。担当部に話を聞こうにも不正確にしか答えず、施設中を見せてくれと言っても、「部外者が、内部を歩行するのは危険だ」などと言い張り、立川市や八王子と違って、町田市は秘密主義で凝り固まっています。

今後、町田市は下水処理の汚泥焼却灰を埋立用ごみ処分場に持ち込む考えですが、少なくとも町田市内や多摩地域の日の出町ではそれを受け入れてもらうことは不可能でしょう。事態を正直に説明しても困難な事態をさらに秘密にしていたことで、その後の対応が一層むずかしくなってきたこと確実です。

＜8月8日は、セミナー開催日です＞ ➡

「福島第一原発の作業員、意識不明で病院へ」の方が心配

6月10日の新聞・TVニュースで、「意識不明となっている人は、大成建設の下請け会社に勤務している40代の男性作業員」という内容でした。私が、福島第1原発爆発事故の立入禁止20キロ圏の現地を回った時に、当地で見たこの民宿が大手ゼネコン「大成建設」の人的拠点になっていました。多数の他県ナンバーの車両がありました。この民宿は、ドライブインと一体になったもので、ここで私は食事を取ろうとしましたが、この日は休業でした。「大成建設」の名前が出て、この店を直ぐに思い出しました。原発関係車両以外の通行車両はほとんどないが、立派な国道です。



＜第26回セミナー開催案内＞

開催日時：8月8日（月）PM7:00～9:00

開催場所：町田市民フォーラム第一学習室

（町田市原町田4-9-8。町田で一番高いビル）

講師：たんぼぼ舎 山崎久隆 先生

入場料：無料（席は、事前申し込み優先）

主催：市議会 志政クラブ 吉田つとむ事務所

申し込み：下段にご連絡下さい。

掲載記事、あるいはご関心ごとを、下記のFAXかメールアドレスまでご送信ください。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇インターンシップ〈大学生の研修生を受け入れ〉を実施中。現在、小宮春菜さん〈国際基督教大学（ICU）教養学部 第三学年〉が第28期生として体験中。問い合わせは下記まで。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail: yoshidaben@gmail.com